

市長が行く

No.127

新型コロナワクチンの接種について

茂原市長 田中 豊彦

情けないことに実現しそうにない望みですけれども、このコラムが載るころには、ワクチンが十分に入ってきていることを期待しますが、茂原市においては、4月12日現在、医療従事者向けのワクチンさえ1ケースも来ていません。政府によれば、医療従事者は3月中にワクチン接種が終わり、その後に高齢者に向けての接種を始めるとのことでした。

今後、医療従事者向けのワクチンとして4月12日の週に4ケース（1ケース170人分）入ってくることですが、約4千人の医療従事者に2回接種するには足りず、その後19日の週に高齢者向けの1ケースが入ってくるそうですが、それでは2回接種と考えると約500人分の接種しかできません。なぜ国はこのような中途半端なやり方をするのかよく分かりませんけれど、普通に考えてもワクチンの数が十分に日本

に入ってきていないことが原因と思わざるを得ません。それならそれで潔く頭を下げて待つてくれと言えない、無策を批判されることを恐れる政

5月下旬にやっと高齢者接種ができる状況になると考えられます。

このワクチンはマイナス75度で届き、それを溶かして、さらに希釈してから打ち端の行政をつかさどる市町村を混乱させています。

また、どのような基準でワクチンを配布しているのかの説明も不十分でよく分からず、ニュース等でどこそこの市町村で接種が始まつたと聞くたびに、頭の中は疑問符でいっぱいになります。

さらに、高齢者向けのワクチン接種券の配布ですが、もうすでに郵送されていることと 같습니다。ワクチンが来ていらないのに郵送するのはどうなのかなと思いましたが、國からの指示には逆らえないといふことです。ワクチンが来れないのかと思いまして、国から大変申し訳ございませんが、もうしばらくの辛抱をた。配布した以上、高齢の方々から接種についてのお問い合わせが集中するといけないので、防災無線を使い高齢者向けワクチンの接種も遅れ旨周知させていただきました。今の状況ですと、良くて

5月下旬にやっと高齢者接種ができる状況になると考えられます。

このワクチンはマイナス75度で届き、それを溶かして、さらに希釈してから打ち端の行政をつかさどる市町村を混乱させています。

また、どのような基準でワクチンを配布しているのかの説明も不十分でよく分からず、ニュース等でどこそこの市町村で接種が始まつたと聞くたびに、頭の中は疑問符でいっぱいになります。

さらに、高齢者向けのワクチン接種券の配布ですが、もうすでに郵送されていることと 같습니다。ワクチンが来ていらないのに郵送するのはどうなのかなと思いましたが、國からの指示には逆らえないといふことです。ワクチンが来れないのかと思いまして、国から大変申し訳ございませんが、もうしばらくの辛抱をた。配布した以上、高齢の方々から接種についてのお問い合わせが集中するといけないので、防災無線を使い高齢者向けワクチンの接種も遅れ旨周知させていただきました。今の状況ですと、良くて